

iPadなどを操作しながら、上下水道遠隔管理システムの説明をする小松電機産業の担当社員ら—松江市乃木福富町の同社で



モバイルで上下水道管理

松江・小松
電機産業 **災害時も迅速対応**

上下水道遠隔管理システムすいせんの最大手、小松電機産業（本社・松江市、小松昭夫社長）が29日、米アップルの新型携帯端末「iPad（アイパッド）」や多機能携帯電話（スマートフォン）などのモバイル端末で上下水道を管理できるシステム「やくも水神Gシリーズ」を発表した。従来のパソコンや携帯電話による管理に比べ、起動が早く、災害時など緊急時にも迅速に対応できるのが特徴。

また、管理操作を行う画面には、インターネットの地図サービス「グーグルマップ」を

採用、エリア内のすべての上下水道を一括管理できる。同社は00年、NTTドコモの回線を利用した「やくも水神」を発表。現在、190自治体、4600施設で同社の管理システムが採用されている。小松社長は「3年後には、全国自治体の3割で普及させたい」と話した。

【元田禎、写真も】